

小精廬日誌

自大正十四年十月二十日
至大正十五年二月末日

特別

14

1919

595

35

40

45

50



176860

小精庵日記

大正十四年十月二十日以降



十月

廿日

頃田村北次中山田内化中由通至免山素
 三交之身攝平山堂之陸列自給三十部利
 寺賣主月保中活候不南之吉西十場
 樹回之平山者之申老之出殿部之陸列
 配本村山禱之由來改正午早稻田大子
 之五之校宿七大限分給之申之午給之申
 之一時申之新圖書館之校宿七案内

冬親の後、新設、茶園、園、武、源、を、設、け、回
 出、波、平、波、の、式、を、奉、け、保、を、と、る、以、終、に
 之、を、成、り、了、す、四、五、建、築、の、報、告、を、行、い、し、
 つ、て、所、業、を、生、木、一、二、に、余、業、を、行、い、し、
 退、散、全、物、全、社、の、回、り、一、二、の、園、を、も
 持、久、く、停、止、す、早、慶、の、時、球、を
 戦、回、後、時、初、日、に、慶、を、敗、れ、し、也、
 庭、飲、の、指、口、を、但、し、此、の、口、記、を、録、し、し、時、に
 病、敗、法、を、大、早、橋、田、大、意、の、也、

廿一日

晴、去、冬、閑、し、平、山、堂、に、速、達、の、部、也、と、ある、村

山、筋、の、所、以、久、江、第、一、事、功、施、保、を、業、す、十、時、を、
 早、大、回、音、鼓、に、列、の、を、回、音、鼓、協、同、の、同、伴、者、
 を、鼓、に、迎、ふ、二、村、余、主、と、し、七、肉、旋、を、新、設、を、
 業、の、以、後、大、隈、合、宿、に、午、祭、を、行、い、余、族、
 抄、流、流、を、為、す、婦、山、協、士、長、科、を、協、同、也、
 三、城、内、中、崎、河、部、子、沢、等、に、被、刺、出、席、す、
 五、島、島、回、音、鼓、の、伴、者、列、を、和、由、を、行、
 大、田、河、又、橋、井、等、の、會、し、む、時、由、御、落、
 著、功、也、
 外、一、三、と、し、す、也、不、在、
 中、改、也、
 秋、田、
 の、明、石、在、助、と、し、来、也、又、中、川、柳、お、の、と、し、列、の、

雨、田村北二ヶ所、古地、三ヶ所、本元、八打隆
河、地相、為、文、に、年、次、に、地、相、を、筆、下、り、重、郡
鳩、石、を、こ、湖、を、と、り、す、地、行、を、預、金、を、五、十、由
引、出、し、家、園、を、借、り、同、之、致、地、別、の、家、を、本、元、に
来、り、山、田、武、相、其、地、和、田、希、古、を、と、り、去、二、時、に
借、り、去、り、之、を、は、り、て、出、遊、回、み、山、を、と、り、去、り、
手、を、さ、し、北、田、に、回、り、山、を、と、り、去、り、古、地、を、
の、内、に、す、の、持、入、し、細、田、を、と、り、去、り、地、を、
と、り、出、て、昔、を、と、り、去、り、地、を、と、り、去、り、

陰、毒、地、又、二、ヶ、所、を、後、下、林、島、地、を、遊、遊、在、
街、つ、を、は、り、十、時、の、早、朝、院、日、出、地、を、押、下、
高、の、地、所、の、有、り、と、り、去、り、二、付、云、り、の、地、
示、を、受、り、余、の、名、見、を、取、り、去、り、十、時、に、
自、動、車、を、取、り、地、相、の、前、の、美、術、館、を、
取、り、去、り、余、の、昔、画、骨、畫、を、去、り、去、り、
又、り、平、山、地、の、主、人、と、共、に、一、世、し、山、子、地、を、
田、に、取、り、去、り、丹、島、地、を、取、り、去、り、
都、中、其、地、を、果、物、を、取、り、去、り、
去、り、出、陣、に、家、持、寸、本、元、に、来、り、
理、の、為、の、三、時、を、と、り、去、り、

去送七印へて珍産を物と能記を事し(物と
入る)

廿四日

曇武高時毎もし来出 丹兵原手余の産
之に村上京の為と相白事ありと其路の至
橋南橋河大空尾の功い日付美術伊集
部に別り別名を日給へ 丹兵敷を賜へ
日二十後法義殺利今言を中のせを
よの二乃此に況に去言まうくの如
墨舞池午的の事終にはの之酒を
てうるをば並海も来出 不在中放え

向の海溪深主任道満謹言来功

廿五日

時、五峰遺稿巻七も三十部出来、早大教授
言橋清本式功古時方の改年方の改流史
を後美木和脚田村の事法、内山者にも来也
丹兵原平、耳功、午兵と與りし、念後余
の言を物もを生し示し十四部割賣此價
千二を十五用也、此等の口四塔 親族の家
為のつるに及んや望のしもの事、丹兵に割
賣も、不以也、大石理田、山の武村、支事、の
交、事、の、夕、割、改、上、也、花、も、う、法、敷、を、施

三出飲あり下各出地文行書二回云代拂満
八十月今夜天吹招らん華族合飲所
る光を伴ふ久吹の友命を帯ひ次官
乙支那の地くに此の招飲あり

三十日

雨足達父子の為念ふに福原録二冊を
取次友舎に印を院の用紙掃下二つ云
りの誤を尋しと物了樟葉の自馬込五
峰遺稿帳八冊部印刷所を持冬、馬山
幸三二書三冊交付了、大島井弁三未亡
人謝禮の為馬込の信笑婦人副武能より

拙意を乞ひ来り、直に出し七枚郵電
料二十四、八枚納付散策琳瑯書二度去
植所名実圓致六冊籍入、神回と回分
、山崎越次より来り、京都谷村より
来信本間久雄より早稲田文芸以年
節の寄福を頼み来り

三十日

時、弟山幸下二入を愛印に附すへき也書を出し
て河原中しめ九歌一交付了、松宮香を去
五幸安福上巻二十冊交付、下林貞雄
足達友舎より馬込の信朝福原院出功

秀月堂、配り菓子と注文、後香二函購
入坂口荒川、あ家、老々、真の桂次、高
栲義彦、郵書を是す、山の教、城、城に献
す、そのころ、ま、土、峯、連、た、の、月、院、三、年、迄、子、と
新、所、た、り、と、指、教、し、ま、た、を、話、す、西、高、原、吉
田、の、今、井、三、電、話、を、通、し、先、の、後、口、話、を、約、す、
其、栲、義、彦、に、云、状、を、是、す、村、崎、雄、山、中、樵、取、派
又、利、お、人、と、柱、も、お、扱、に、飲、あ、深、更、八、田、三、五
三、時、見、七、錫、原、尾、に、轉、飲、十、二、時、半、ゆ、了
臥、す、先、石、塚、松、井、の、自、の、を、話、し、松、井、の、子、房、所
二、廿、元、お、り、物、を、是、す、

四

而、此、状、の、酒、下、利、と、う、う、数、日、の、便、秘、解、け、相、年
教、回、利、す、今、初、ハ、時、五、十、分、の、丸、事、に、七、新、島、田
、向、け、是、す、先、系、に、石、塚、家、を、伴、し、十、時、半
新、島、田、着、高、栲、尾、入、公、墓、碑、石、工、作、之
間、七、招、き、墓、修、養、の、事、を、協、議、す、午、時、出
後、五、十、分、の、列、り、淨、念、寺、に、北、堂、深、厚、院、見
新、尾、の、香、七、回、忌、法、要、を、是、す、歴、代、の、墓
と、度、し、香、集、を、捧、ぐ、又、先、考、西、堂、前、に、近
若、陀、葉、勒、山、陽、を、献、す、尚、寺、墓、田、城、山
と、三、兒、の、墓、を、一、所、に、纏、め、七、新、島、田、墓、を、設
く、八、き、地、區、を、換、定、す、寺、に、布、施、十、圓、量、田
、五、圓、を、り、尚、法、寺、の、佛、具、を、調、ふ、為、め

寄附金金の要求あり万同堂の財を流す、山上の長
墓の時寺に雨由や志、新島田も石工佐久間
一斗身、世に墓域を定む、寺所居田、地の左側
最極端の一隅、福と小高き寺の荆棘をひらき九
尺四方の地を定む、及らるる合、里の切室、
就と一旦、地を切り、余四時二十七分、汽車
よて中業に赴き、見え、右、左、五時七分の
汽車、まゝ、新島、庚、光、由、朝、吉、田、の、今、井、を
訪ふ、約、あり、西、東、く、伴、の、お、後、寺、堂、本、冊、を
三投す、雨志きり、降、る、杯、を、仰、げ、深、更、ら
之、人、と、流、す、

五日

雨、冊、異、ま、余、八、訪、問、を、候、と、物、出、の、換、お
と、修、余、端、を、相、お、後、主、更、に、出、元、し、あ、
数、千、冊、の、圖、志、を、換、し、家、に、存、ま、き、よ、め、と
奏、即、す、く、き、よ、め、を、定、む、圖、志、を、換、し、後、お
こ、入、り、法、帖、を、換、し、骨、董、量、を、見、る、果、干、つ、て、名、家
手、間、干、敷、巻、と、書、定、其、の、後、修、と、候、お
此、等、の、事、に、半、日、を、消、す、圖、書、油、の、際、田、家
存、本、二、種、を、見、元、す、趙、凡、夫、印、譜、十、二、冊、
六、書、而、一、帳、こ、ん、り、主、人、此、二、本、を、余、と、割、合
す、る、の、見、に、臣、版、釋、柳、又、并、に、家、大、人、自、言、
此、最、書、の、経、卷、を、贈、り、午、お、後、人、の、為、の、廟

子散物を揮毫す、主人散幅の去書画を出し示
す。九叔の山水最七見、二、四時辭、七冊
号家と去り、同早五合乗車、新津、七乗換七
時過新沼、入、不在中、市崎、花、舟、功
物を贈り去り、先、今、朝、今、井、訪、河、内、功
り来り、晩、中、一、度、井、一、山、田、敷、城、舟、功
新沼、新、舟、の、往、五、三、深、し、長、時、間、後、七
去り、市、橋、義、彦、を、も、た、り、上、り、也

六日

明、朝、来、入、の、爲、に、一、三、四、五、掃、毫、流、原、三
即、十、五、時、鐘、を、其、時、桂、河、中、舟、功、物、を、贈、り、去、り、也

橋、義、彦、と、在、時、召、取、り、錫、毫、彦、并、紅、梅、の、功
定、四、十、六、日、拂、流、香、月、堂、法、中、葉、子、代、十、七、日
六、十、支、拂、流、先、光、同、今、井、一、再、訪、四、時、已、是、来
今、井、家、族、と、明日、在、日、行、東、京、入、り、こ、と、決、す
高、橋、義、彦、も、雨、江、の、報、後、史、之、所、完、を、贈、り
二、光、去、り、定、三、日、去、り、寒、京、第、一、戸、外、風、起
端、今、報、悔、氣、と、決、し、等、も、見、る、事、も、去、り、也
二、時、召、取、り、物、酒、を、呼、ん、だ、い、と、り、飲、み、後、の
施、金、物、を、七、十、四、日、奉、代、三、十、五、日、中、心、付、十
日、支、出、六、時、出、身、在、此、事、の、決、定、也、付、可、り
二、三、物、を、贈、り、倒、り、こ、と、も、為、物、出、身、由、り
七、個、を、散、り、こ、と、も、也、新、原、も、松、井、郡、流

去るし物を贈り来る

八日

晴朝来書畫の骨董を捨て丹兵衛に賣る心せし
よの十二點出ず村山物に付来月
三賣主に出す心せし書畫三十三點後伊達友
俊叔の献書に由れり其書畫も付由り
田原の屋敷に由り四谷の平山堂を以
て幾多二三を持由り神田の書肆を以
て山本書店に移會せし丹兵衛同出賣印
の事を托す井上廣長来物秋田の團座を
贈る二日上海書真蹟典二の諸書到る

九日

晴中夜に四の信託編輯委員の件二村一平氏森
脇程村宗八氏談話して吉田秀久の信託印刷局
社の用件を以て来物宛宛を著し早稲田書
報の記者に付編輯主任内田安隆氏来物宛
田秀久と合談せし事久江氏一平氏談話の事
こゝに於て社の改革の事二つき内誠實衆
山書下三ノ事久江氏に付高山の一編徳の冊
吳康平 荒川元二氏来物丹兵衛平氏
之状を以て又春陽堂の今打燈に書状を以
て之を宛りし信託又書畫を教心理を以て
平山堂も又上代金計り并漏合八十圓也

送付：月受領

十日

町朝来書道骨董山丹是て徳子(き)分
其用と申す十数點を檢出す残る幼童満
一件一三廿平山をく出状を別す植木を根
き玄彦前の松の手入を為す一山花塚を等
す文の古院能申金五合九十圓領取山
田清凡加賀草三十一石丹是より花田目録
利幸一南方より七丹是つ徳子へき物名目録と
説ゆきを送る丹是宗吉より未出午後徳
人と福田下谷に圓と徳子記す一物を結成
丹是に飯一箱と入り物也

十一日

町丹是原平田代家女に問す守屋此物に
随中(中)山湯を贈る河内桐みまより河内玄の
て後今村隆来る春陽をむに松を針書に
書籍の多うて後すぬ朝平人の丹是を古と
出早稲田を指すに河内玄隆才より隆
ては(は)い(い)新(新)の(の)徳(徳)子(子)に(に)掛(掛)け(け)置(置)き(き)付(付)純
才(才)振(振)十(十)時(時)も(も)大(大)段(段)分(分)給(給)と(と)徳(徳)子(子)を(を)後
合(合)を(を)ひ(ひ)ら(ら)き(き)し(し)ら(ら)く(く)成(成)美(美)事(事)に(に)記(記)す(す)る(る)事(事)
勤(勤)者(者)と(と)潤(潤)す(す)る(る)解(解)決(決)の(の)代(代)波(波)の(の)氏(氏)社(社)に(に)及(及)り

人として就この果、兼に空社改革の
順序よりつき七時、二時午後
二時半漸やく已む内子先を付おて観劇に
力く、獨坐煙を捲し、新の法を以て
初頭の「新」の遺言、材料、目録を以て
嗟に四十件を得

十二日

晴、以上山花より、例の注射を施す、廣井一森
昭美相身法、阪に就古新の事、下婢を付お
来り、今村隆、山田毅、城に新曲を以
て、新會、亮く、来り、丹を以て送る、心き、茶忌
散、此の如く入る、廣井の便に托す、批抄、散
幅の、色く、を、友、先、不、先、を、付、お、て、批、抄、に、到、り
天全、三、致、し、物、全、種、の、物、を、贈、り、て、油、の、口、新
波、理、中、より、山、陽、西、北、路、上、の、法、の、鑑
室、を、七、七、の、来、り、今、付、八、一、の、事、也、石、川
あ、次、中、の、計、利、の、新、能、今、社、の、法、會、也、
膳、来、り、星、岡、為、お、察、し、来、り、間

十三日

雨、卯辰部号生、此、存、一、分、あ、業、紀、念、了、ん、ハ、ム、に、収
め、ん、と、し、余、の、押、進、を、七、七、の、法、の、誠、復、物、を、の、れ
家、者、向、を、推、し、し、ま、り、又、す、内、原、久、寛、に、紙、分、を

以石在助之謝出利、早稲田音報、登載可
へき、早稲田大音回者級、一特名を七比せ以、葉
望しと題し一稿を他、難波理一、向、
冊共原平瀧浮三、今、し来、午後、車、原、口、以、
少記者、身、功、地、内、者、造、造、の、文、音、性、性、を、受、分、ん、こ
とを、た、と、い、乃、う、大、要、を、等、り、七、七、七、珠、琅、淵、を、
活、を、五、山、改、并、法、統、を、購、を、の、一、了、守、原、此、即、中
也、故、亦、も、ま、也、

十四

和需七、為、美、意、を、埋、お、新、河、印、三、新、武、兵、も、
新、任、の、撰、持、抗、利、及、森、脇、合、務、亦、身、法、丹、共、
原、平、の、公、状、を、見、る、冊、共、の、送、る、へ、き、物、共、類、一、
画、唐、井、一、の、師、の、便、に、托、す、大、石、理、由、に、向、す、
能、保、と、等、す、今、并、あ、の、十、年、物、河、也、桐、又、並、
木、受、方、ら、し、身、功、真、治、良、も、り、う、秀、を、贈、
り、来、の、出、版、部、ら、し、近、刊、前、田、昆、保、世、界、文、
明、史、物、修、を、配、本、亦、却、是、和、田、若、瓦、の、虫、
刺、の、兵、庫、お、あ、東、志、改、印、を、山、陽、の、材、料、
こ、の、き、来、同、秋、田、の、井、上、慶、之、吉、の、説、也、を、見、
亦、午、後、祐、田、の、考、原、を、活、の、一、二、三、音、を、得、味、
亦、改、田、原、尾、を、改、し、て、ゆ、く、高、田、持、士、美、女、結、
持、披、宿、廿、七、の、根、待、状、利、の、

十五日

日曜日

明、夜に献書市村英輔、市村とし、山本芳
古典美術の研究を贈る。植本をとり、松
の手入を燃玉、種村宗八出版部の要件二付、東
山奥四書を、尾平の書、残画、防二踏、鏡、平
山巻、し、計、兼、海、神、定、井、田、送、付、存、領、収
難波、現、一、印、し、来、向、午、後、二、時、吉、止、の、大、隈、邸、
於て文の協会の理事、今をひき、其、ま、ま、書、集
し、り、文、の、功、能、を、駈、の、る、ま、ま、を、協、演、し、夜、入
り、物、書、二、の、書、法、者、其、の、書、典、二、の、信、を、り、き、到、り

十七日

明、夜、多、店、を、埋、む、少、額、掃、ろ、こ、と、由、時、旅、保、を
筆、す、高、須、梅、屋、其、旅、十、一、時、を、出、版、部、に
到、り、重、復、會、を、ひ、き、き、を、多、く、し、り、配、中、三、割
と、決、し、廣、告、費、の、多、く、を、決、す、余、の、著、書、即、稿
本年七月、し、し、九月、の、日、分、五、百、五、十、日、五、十、七、美、銀
收、入、と、換、代、四、十、日、の、掃、ろ、少、く、江、村、一、と、植
本、現、り、代、四、十、日、の、銀、取、三、時、を、以、て、の、出、版
部、座、の、元、の、製、具、を、掃、ろ、四、十、日、の、掃、ろ、味、茶
酒、飲、し、内、結、少、の、所、の、松、文、書、を、本、学、校、
家、を、贈、り、内、金、五、十、日、の、掃、ろ、入、植、本、を、引、つ、き
素、り

十七日

晴朝耳旋縁を兼す兼勝田村合縁を兼
訪、杉宮を兼す通利出楊元源を贈るも兼
兼和田萬克もしの縁をも兼す、石原を兼す
法、美の四の雜記北秀久永岩徳来つて説を
河、即國也既味の法を兼す一時可縁兼
河をも兼す、午後本御琳記酒を酒を兼す
兼すの内、^二橋田拂入、^一東台の梅川、河合
今村外三日人を兼す、春湯堂、爲の、説
初頭、の世、抄を編纂するに付、材料、兼
兼の、まを協議し、多く時を兼す、文行を
り三の、國方を兼す、前回の、書物、代、十、書
抄、所得、後、期、後、百、来、の、計、金、四、百

五十餘の也

十八。

陰、村井、銀行、の、約、手、七、百、用、幼、記、縁、色、二、の、ま、更
、兼、入、相、来、旋、縁、を、兼、す、梅、瀬、日、年、来、流
、書、物、二、の、旅、記、是、刊、二、つ、ま、日、年、後、元、三、年
、といふ、人、を、併、い、兼、す、余、の、兼、書、者、に、就、て、の、説、を
、兼、記、し、と、兼、す、関、方、り、兼、訪、北、條、の、兼、記、を
、兼、記、し、つ、ま、堀、謙、一、と、兼、す、市、以、徳、厚、子、と、兼
、前、の、兼、書、も、兼、す、法、安、の、兼、書、子、を、兼、謝、し、者
、料、を、兼、す、市、河、三、陽、を、兼、記、若、を、兼、す、り、兼、来
、の、兼、後、印、刷、局、に、兼、記、兼、以、兼、田、と、兼、す、を

更す今夜の法常坊と香英の常務會見
聯盟を来し且つ法文波印研所
府と協議す其程に内議する所あり
恒藤すやまの物を必す、晚河岡方の爲
ニ應し拙書二三枚成す

十九日

和書、田中次郎内山有、三河、山本書店より
来す、朝来、初頭、新夕紙、就七行を記
「二時迄、十枚成す、お徳書、と要す、早
稲田文子新年雜、載えんとす也、下林貞
雄、且山、村山、龜、鬚、個、久、旋、忍、根、鈴、と、贈、り

未、三、午後、亦、を、付、わ、り、未、故、奏、使、の、映、書、也、
を、見、物、紙、三、河、尾、に、致、す、関、方、印、も、未、の、間、
三、川、佑、教、も、物、を、贈、り、中、也、紙、沈、も、後、香、梨、

二十日

頃、早、大、師、乾、茶、葉、生、の、法、一、應、し、二、三、紙、押、
毫、為、二、三、枚、人、の、爲、に、應、し、書、す、丹、三、原、
平、市、河、三、陽、に、出、状、を、致、す、高、橋、源、一、中、
法、紙、の、文、料、領、布、の、件、有、協、議、し、七、云、の、新、夕、
田、原、の、換、札、を、著、す、亦、須、梅、活、も、馬、出、山、本、
野、田、百、五、尾、主、人、丹、兵、家、團、の、件、有、來、談、一、時、
華、族、分、館、に、判、り、文、の、場、合、の、春、時、向、法、院、分、を、
い、ら、く、日、支、撰、祝、日、題、に、し、外、務、者、五、柳、是、馬、也、

キ子等の映畫を見、味美に飯し、物盛取の
の二三土産を給ふて仕了

廿三日

所、毒除美樹宮須栴原身治終に難波現一
印、亦、治、園、方、り、又、其、方、地、派、新、技、は、平、
卿、余、の、説、も、ち、と、あ、あ、の、事、は、あ、や、い、あ、村
山、池、し、能、く、と、ま、也、引、つ、き、い、治、支、の、時、也
草、す、其、向、家、結、婚、し、つ、き、祝、物、を、送、り、奉、間
久、前、に、石、橋、に、関、し、一、巻、を、為、す、又、二、三、の、巻、
を、送、り、一、二、の、論、書、を、獲、て、か、へ、り、又、刻、情
楽、園、の、楽、隊、合、奏、に、あ、り、酒、中、一、余、一、席、に
談、論、を、試、む、其、時、我、存、り、し、は、間

二十四日

午前、天、便、寒、し、雲、山、の、木、切、作、り、山、田、所、迄
丹、美、原、平、に、出、立、を、な、す、又、村、山、島、嶽、
に、投、間、昨、夜、来、風、邪、の、氣、味、あ、り、栴、原、
館、を、あ、り、す、亦、此、市、未、だ、の、人、和、田、聖、
陽、聖、次、の、湯、堂、を、と、り、山、池、利、の、服、部、耕
石、身、治、終、を、吉、田、未、だ、入、社、用、り、来、り、賜、
く、何、事、の、の、み、を、興、え、ん、と、し、頃、あ、り、と、内、報、在、り、
議、下、十、三、時、内、為、久、克、と、り、二、葉、信、永、平、と、治、あ、り
午、飯、を、進、め、す、其、須、栴、原、を、し、其、暮、東、洋、田、
起

十六日一冊送り来た。今日諸税納付結果所得
税府税方税金(金)銀共四万一千四百餘也。在
り銀行預金五万四千餘、電山奉三五千
分、貯蓄金五万、出状を呈する、残高
分、貯蓄金五万、一色を呈する。

二十五日

陰、早朝中野に於て、早稲刈り、水灌ぐ大隈、
記、件、早稲刈り、早稲刈り、早稲刈り、早稲刈り、
引元、文、明、主、流、主、流、主、流、主、流、
村、早、稲、刈、り、早、稲、刈、り、早、稲、刈、り、早、稲、刈、り、
録、を、書、き、つ、く、谷、打、一、色、を、呈、す、る、一、色、を、呈、す、る、

一の社名、記、明、主、流、主、流、主、流、主、流、
四、十、五、日、銀、収、本、河、之、権、も、其、之、と、持、元、を、
あ、り、田、原、之、銀、方、也、電、信、局、の、印、刷、も、電、信、
局、の、印、刷、も、電、信、局、の、印、刷、も、電、信、局、の、印、刷、
を、提出、し、未、だ、伝、言、を、重、復、伝、言、を、伝、言、を、
を、議、事、も、た、ん、と、市、役、令、開、け、す、的、日、午、後、
混、雑、と、総、期、も、刑、罰、も、協、同、体、業、を、行、ひ、
引、り、も、き、閉、鎖、を、断、行、し、職、工、商、法、を、為、す、人、
決、意、し、極、端、時、は、電、山、内、議、し、職、員、課、長、
激、と、ひ、く、き、且、つ、日、夜、更、の、部、署、を、定、む、
大、の、七、分、七、割、を、加、へ、十一、時、中、也、

一、天宮を伐し其氣を奪し、之を早達農林大臣
 と及部、訪を令紀年祿を以て、大田徳盛、電
 詔を通せしめ、午後大田を訪ひ、ことごとく、由
 路改上、山形と訪ふ不立、由電後、森柳、再々、
 十時、已修、出園に到り、山形印刷の重役、今を
 いらき、職工におさま、交言を、揚致す、後、向余の
 提案、全部を可とし、強硬の態度と云ふ、決し
 去の未久を、得て、大田徳盛、視察、終を、敬て、視察、
 部、之を、方、郵、筆、派、二つ、き、敬て、其、方、を、需、出、地、の
 敬て、視、の、揚、致、し、去、つ、て、今、此、に、利、り、の、口、の、を、
 議し、五時、在、工、業、界、に、在、り、二、つ、り、旅、法、局、の、
 者、と、今、し、り、の、内、の、断、行、を、後、援、ち、ん、こ、と、を、求
 め、之、深、更、に、論、議、す、山、の、手、三、印、刷、會、の、重、役、
 皆、今、し、あ、き、り、な、後、援、す、ま、き、を、力、説、す、余、も、
 其、田、か、り、得、る、湖、の、日、注、果、決、意、に、付、極、力、
 論、し、此、論、議、を、展、す、る、の、條、對、不、可、を、言、ふ、
 或、し、之、能、説、社、の、利、害、區、々、と、論、議、終、り、
 三、十、時、に、も、つ、旅、法、局、其、條、若、何、去、る、後、印、刷、
 同、業、者、に、對、し、日、の、為、極、力、後、援、を、與、つ、り、
 清、境、南、の、旅、法、局、其、條、刊、行、進、引、す、と、同、
 じ、條、に、他、社、旅、法、局、も、旅、法、局、の、後、援、も、あ、互、
 競、多、し、を、不、可、能、と、す、一、あ、べ、し、と、の、内、議、起、
 り、吾、社、に、之、れ、を、力、あ、る、後、援、と、す、又、の、成、之、を、

者、と、今、し、り、の、内、の、断、行、を、後、援、ち、ん、こ、と、を、求
 め、之、深、更、に、論、議、す、山、の、手、三、印、刷、會、の、重、役、
 皆、今、し、あ、き、り、な、後、援、す、ま、き、を、力、説、す、余、も、
 其、田、か、り、得、る、湖、の、日、注、果、決、意、に、付、極、力、
 論、し、此、論、議、を、展、す、る、の、條、對、不、可、を、言、ふ、
 或、し、之、能、説、社、の、利、害、區、々、と、論、議、終、り、
 三、十、時、に、も、つ、旅、法、局、其、條、若、何、去、る、後、印、刷、
 同、業、者、に、對、し、日、の、為、極、力、後、援、を、與、つ、り、
 清、境、南、の、旅、法、局、其、條、刊、行、進、引、す、と、同、
 じ、條、に、他、社、旅、法、局、も、旅、法、局、の、後、援、も、あ、互、
 競、多、し、を、不、可、能、と、す、一、あ、べ、し、と、の、内、議、起、
 り、吾、社、に、之、れ、を、力、あ、る、後、援、と、す、又、の、成、之、を、

其地、日の更々市前九時工業倶楽部にて再
会と約して散す十二時由良、散す利の整戸
巡査を急ぐ、海守も来る。

二十七日

昨日印漸々快、以上印多あり例に注釈を
施す、丹兵衛原平をも来る、今社令も休業
と揚示す九時より工業倶楽部にて乗来、佐
田政とそ社令公約の打合の上、四の空
社のもう取を担力後援する、(七)具体案成る、
午後地の三四の印刷店此の重役と相約ん
るの後援をもとの何人も賛成者あり、(八)
印刷店に四者をも約す、(九)日、今社令決
を其の日の(七)印刷店令社の社長の臨社を
もとの其三人の上決案を以て示成の言を以
てすること、決す、(十)刻時迄、先回付したる
積りに付ける、(十一)高田君の此の格式に臨む、植
木を引つ、(十二)未だ、ブサキ君を備へ、(十三)
植を修理す、(十四)今更印刷同業組合の令合を
あつ、(十五)印の争議を急し、全部、(十六)奉行して應援に
決す。

二十八日

午後、日本郵船配向八朱受領、(十七)又昨
日、退院、(十八)植、(十九)山本書店に

町、山本書店より冊美書物代六つ因初元、山
本書店より二つ因也物代未拂かしの内付掛、出
版部株金拂込残額九万圓掛込畢、新河
とと安部新九中、外投友よも者の方より、利本
が、以、算一も、河、成、芋、一、倍、贈、り、来、り、十、時、合
社、に、利、の、早、給、の、数、を、考、へ、四、者、中、に、由、才、又、石、川、成
美、才、社、の、日、も、工、場、を、買、く、う、と、決、す、而、も
二、現、工、全、部、の、急、業、の、換、換、あり、を、免、れ、爲、
す、る、策、を、講、ず、決、せ、す、并、に、渡、士、を、招、き、工
場、規、則、に、つ、き、し、意見、を、徴、す、急、業、に、就、て
の、急、業、の、日、定、ち、し、こと、し、之、刻、前、迄、と
せ、江、島、の、利、生、高、田、と、せ、に、決、す、不、在、中
飛、工、三、四、来、り、陳、情、し、て、去、り

十二月

一日

町、本、分、又、昨、日、本、日、午、前、七、時、半、工、場、を、開、き、
急、業、に、二、人、も、来、り、し、る、縁、起、の、こと、と、し、急、業、
三、編、の、山、田、吉、田、の、来、り、は、本、親、事、に、来、り、十一
時、半、工、業、に、出、り、し、る、秀、英、等、及、西、原、村、等、
日、清、の、首、魁、今、合、衆、を、視、候、時、功、益、に、件、
十一、社、臨、合、し、人、合、衆、金、全、統、一、策、ハ、日、清、の、夜、
表、し、る、も、他、社、未、定、也、と、し、し、る、事、也、

是れが来るまでへーと決まると、余は午後分社に別
の牛止敷を委託書長と申すので、法政の打合を
為す。翌日午後五時強硬の年事と云ふことより
定しあることをゆき、長と強硬、結局不良
子を早く交合するにあらざるを得る先を調
停況なりうぬすしき形柄あるに、深慮の
内議し、明日中三十三名の懲刑的解雇
を為す。法し、由と云ふの手段を為す。内田兼
次士と松も又次、巻せしむ、主婦之反社
去石川、可なり、歩時、河共物を言ふし、
す言、業社員、強の、應接、困、し、
宅後一人の長、又主、強、有、母、
家の、色、生、
判、法、し、
十、時、十、時、也

二日

時、此の無量、法を、式を、
教を、令せ、
其、十、時、分、社、
昨日、三十三名の、
との、
重、
と、
と、

法会を先づい筆くすも又必要あり、工業倶楽部印
多の首魁を会す、会社を出いんとすも、松本英
余：事起り後、休業を指示し、元報に
掲す、筆識登、擴大、東京此等の為の工業
倶楽部、失くすも能はず、四社合会、七今
視連合十一社の会を聞くと決し、且つ協文致
の決意を促す、午後帰社、主婦之友、石川未
リ、浦傳、二つき云り、条件、前日の、よ、二、三
加へり、会社、印刷、應ずる結、い、ことを、英、引
つ、と、他の得意を付ひ来り、浦傳、に、應、せ、し
会社、委託、を受け、印刷、を、め、け、り、す、と、難
詰、す、編、に、重、役、多、く、席、に、た、り、余、應、接、の、傍

に、あり、今、又、十一、社、の、聯合、会、を、結、成、す、事、よ、二、三、間
聯、成、る、を、以、つ、て、四、卷、の、深、夜、に、及、ぶ、べ、し、と、答、ひ
欲、了、る、を、答、へ、つ、と、め、七、時、の、重、役、を、付、け、て
工業倶楽部、に、別、に、十一、社、考、く、八、分、す、も、英、英
に、此、業、起、り、同、社、の、休業、を、宣、す、と、せ、二、十、九
を、解、傭、し、つ、と、の、報、告、あり、今後、一、層、統、束
を、望、み、す、る、為、の、立、社、に、各、一、部、内、に、其、他、の
六、社、に、二、十、九、日、の、筆、識、の、資、金、と、し、て、出、す
べき、こと、連、盟、の、承認、を、得、す、と、筆、識、に、浦
傳、を、答、へ、可、き、事、に、筆、識、を、答、へ、す、と、す、
こと、若、し、協、定、の、準備、を、急、ぐ、と、す、と、答、へ、す、
願、す、以、上、決、す、深、更、別、室、に、重、役、会、を、ひ、ら

会派と云ふは其の法果分此の苦坊を高くし其の
社長の余を引出さんとすんば余ゆき後にも思
とまんを應せ大他の重役を以て應接せしむ
るは社長の母言や所を深くと不利ともか
た也

五日

高麗遊末の結構、由子病を以て山花事うは
と施す、丹是に乙状を展す、十一時出社車をも
委する、坊又故の向背決せす、同會を展るす
傾向あり、三月余苦志去り、午後二時又江
同會、工事、他は、杉山、其、長、見、れ、と、合

一七坊又、對する事、と派す、余、態、が、然、る
我、多、う、若、し、坊、又、同、會、を、脱、する、に、於、て、也
工、國、の、氣、概、と、さ、ら、め、天、下、の、物、笑、と、す、る、也
二、世、事、作、事、部、と、す、る、間、に、旋、転、を、念、分、の、代
表、十、名、許、余、等、に、而、さ、る、と、と、め、有、ら、う、と、思、は
す、彼、等、の、新、年、勉、勵、を、め、め、し、て、ん
る、こと、思、ふ、處、を、こ、ろ、へ、ん、繼、と、無、礼、の、言、を、展、す、
る、也、余、も、然、し、得、ず、一、二、回、起、つ、て、連、ぬ、
の、為、の、氣、を、吐、く、彼、等、の、徒、を、自、分、の、前、の
利害、に、拘、り、思、論、を、出、す、為、の、み、數、時、分、を、費、
す、漸、々、圍、を、脱、し、を、等、向、向、と、思、ふ、を、
興、う、して、後、又、連、會、を、展、す、一、回、に、す、る、今、派、を

いふと情入社者大橋の流方の云々曖昧さ
舞を夏難しと余も切に申出し今大橋
と誤りし憲法を従すべしと云し人を
先、派し其の出席をたとのある役に向
つて他方の曖昧さをも責め程と解
り共本を唱へて是の日の思ふ方定まらざる也印
別紙の願ひを呈し錫々未合十一時迄
物書。

二日

日曜

時、罷書あつてくると此の文次申す来功罷業
の途を改す十時出陣すを云ふ昨夜輪轉
部十二名次第に業をく見終りし二坊に収容
し見分刑と輪轉校と先の勤かし其の
氣概を執り他の各部の従業を従せん
し大いに業をく見終りし二坊に収容
四名をとりし此本と掩護せんといふ乃ち十
二時をこし決行に及び余吉田を伴ふを
臨み、彼等の二男と忠誠とを責りし今代の
歴史に當るべしと誤説し了り、一齊に輪
轉校運動を子如く此後一統の國に擊
つ彼等、秩序回復の先驅を、校正建又
雷を鼓し、國工と誤取らんといふ、今此の職を
復歸を促すを批と云ふ、昨夜大橋との

約に從ひ十二時ハ大江ハ橋又ハ利ノ仕事の後
後と托す 橋又ハ初めを説し以んと名大橋と
約に皆て令地ニ在り其誠意を長教と
約に皆て三時余いと云其意は京都の職人等
を鳴らす秀英大橋の弟の墳地ニ托
し自由行動に出人とする抱負あり余ハ極
力難望を破壞するの不可なるを論し
日井上源しを大橋に就て所決せしむる
と云ふ、大橋余一旦家ニ歸り、七夜教を
期し余の宅を敷て戒し三知人七等公
同も何るも云ふ、大橋教を云ふ五十公

七日

田地収獲の地を云をわたり来り、内子田
十畝にきき取らるるに西守ヤ、前田橋土車
診夜に入りラシ夫は皇経降誕の史を教を
傳ふ、江上カホレん、是真の史典二二の傳てら
き別寺、京城白鳥昇平より来也。

七日

町井上源しを云ふ大橋幸英の態を云と報し
来り、新法田のてを云と報す、初めは、陳師セ
し、信望を云と和解の衝て高し、めをいふと
橋の義人としておぼゆる其某のてを云と觸れん
ハ仲裁可有りと云ふ、今此職二の後歸

後日印刷部労働争議の経過を報告せし
臨海労働会にあり種々労働争議を論じ四時
合議の物入り種々の情報も少く一方工業
但印刷部印刷関係者の集まりあり又以
わ其出席者各々の三十数人職名を各授
するの決議をなす増田の中裁者直而
しと志きりし韓旋夜に今本誌の中裁
順境に運びつゝある報利に余一夜を
徹し中裁係を終りしと志しと決意し
増田に其意を通告し夜三時を過ぎるも仲
裁係終了にありし罷業労働者の起る債
金を拂ふべしとの提議中裁係を起る債

進んじ交渉行なはるやあ四時を過ぎるも決せ
ざるもつき増田もしと全労協絶せしめ
人為前島支田を同伴自働車を起
り工業関係部に到り指授も交付は
罷業中一の賃金支拂の事と見せし者
くと此に但し書に年末未済とせ相商に類
を述べてしと云ふ論議あり相商類と云
ふ罷業労働者の日給を類をいふと云ふも
すき余に其の不可を論じし増田も
況に屈し此一義を自見に任じくんとし
遂に決するも心るも其の同意す
其英舎長も亦此に同意す

増田の法を容るゝんを弱る残念しきや
不快を感するよし土時中裁名の如く
観之側と一回合見し余中裁名を
形式的の詞彙も陳へ引揚ぐ内書の
趣向く今夜神田中舎彼に開き
彼等の演
況今解散せん并士揆束を多く

九日

時今朝少久江古田を扱き
内渡す往村少久来法内子
士の来法を治ふ午後二時
と今と和歌と就て一坊の訓示
今をいふとあひまも出者

方の為め分社を用を果し
新沼宿田疏彼を梨菜を
山老も書書過月量残
を為し早く寝に就き
此を福ふ今日も
敬完更の家宅敬
斎を

十日

時今朝九時迄地震
社之重役会に臨む
中より彼等
状景未比
訓示演説ハ

延期しあら動静を監視せしむる重役令に
於てハ総局に附すべし議案未を協議し配
南一割を決す今日秀英令職之復内の
招領ハ重社とす一時召後九日つ彼等
赤旗を掲ぐ入場するを状況重社と同
しからず或ハ同場又彼内の職之復等
とす之を為すの持秀英に對し苦業
重役令を布告する事と而此の職之復此
為る同役等幹部の並由とす其に
於て書山美とす似等現に重社の職之
ハ坊印刷局労働組合二日入りとす今後
ハ尤七箇長教を社を要す不在中ハ久永
岩橋其の用舟夫原平とす未出中四
通信社とすの重役令をいふと通牒列
不在中ハ村長久野とす

十一日

町山田野城舟夫原平龜山素三洋金寺
竹田新島新島其田高橋局おと出状を為
す竹村高久本分久野と雪説を文内扱
ハ献毛新島と原長とす未決並不耳治十
一時出社古と見ふと早知と職之業とすと急業
氣分可し去田史江江橋中厚志を言
為各少く礼廻りかき午後出附部と到り

事を乞ふ二万四印税之内諸元下谷二回分
又の事と回分を請ひ七十四拂入。此の二回分
り細白を乞ふ二万四拂。十一月廿九日北条義房
矢吹有三人来也。四時半頃諸君あり。此の文
二印税分来給充縁法を乞ふと去る。此の先
七俵を四俵乞ふ領す。

十二日

時辰上は花来り注射を施す。足安大の早来
功輝を難波早大禱す。其の印合并法委實
合の件。つぎ内流して去る。早稲田文正の
幣々ん流の流初歌の流々流法この合祀
流流の流々も流の流々今初より書きたし
り。二十一時少間と得る神田に流出を請
ひ。凡月堂に領し二時合祀に列り事をも
見る。今四朝。此の流々二十番自借入の
成り。同行記も流伯武権来祀に流見
り。新由書。此の流々の石工休久百其流も
あ。五下合修業。この流々地均しとるし
を請ひ。未の流々も。近刊女井魚
の北流日物を賜り来り。大隈流子と香
社均五二種流々流法を賜る。

十三日

。

八十四	植木屋平右代	万七十四	美岐代
五十四	大井納代	五十四	前田樂
四十四	宇佐美流彦代		
三十四	山灰代		
万	津金寺宗附金		
万	三井入老	五十四又三	
二十	多勢入	新	書四十四
五十四	梅山祖三	金	
万	内子没し		

十五日

而、池水凍法、寒暑漸く否し、村口書店、而本
 改因拂泊、久永岩穂、此方の細茶の改味法
 引つ、き口授筆、採りし山本、吃四百古店、
 飯丹美、の食物を、受印、存御礼、し、為菓子、を
 指巻、十一時外、出神、田下谷の古地、を、麻心、功、差
 干の、回方、を、獲、て、御、と、琳、瑠、へ、冬、に、石、田、又
 行巻、三、五、十、五、月、細、川、寺、名、三、十、月、仕、拂、六
 吹、者、三、も、物、を、御、と、西、条、舟、美、も、塩、川、を
 貯、り、真、治、典、二、代、人、も、梨、葉、を、御、と、
 末、二、津、金、寺、墨、田、誠、山、も、裏、地、の、傳、付、付、
 乙、西、条、舟、美、江、又、の、塩、川、三、条、御、と、使、と、付、し、

貞之尚す、由縁之竟と甘香夜は在来、松
か、松又中く二十内者物代拂、東美俣出印
国者入代も同者、東拂、并松、午の末

二十日

明、森野の村来、の城今年末も多を寄す、改
上弘前来、の感冒、松活法、秋を受く、里の真
道、桑、飯、代人を出す、香典も贈る、其、三取
信、合、件、存、来、の、河、ら、く、定、の、附、井、上、田、後、す、
奥、田、宮、前、維、波、現、一、介、来、訪、文、江、来、一
合、此、の、件、存、去、時、河、内、法、し、七、を、す、小、林、様
三、中、奥、田、宮、前、を、物、を、贈、る、帝、國、道、行、社
を、得、し、松、河、を、兼、し、時、を、受、す、豊、田、織、山
り、来、出、城、後、旗、印、も、味、噴、一、掃、利、幸、野、矢
武、文、其、中、子、良、文、を、付、め、来、越、武、文、の、父、良、次
八、合、件、の、後、武、若、毛、維、新、後、余、の、家、に、寄、る、也
よ、の、也、夜、来、也

二十一日

雨、朝、未、出、現、し、七、日、の、印、信、海、濱、の、仕、末、と
所、感、を、難、保、に、養、し、了、る、の、山、午、に、到、り、電
信、を、通、し、下、村、に、寄、り、し、海、濱、に、到、り、桂
次、中、寄、り、也、境、外、を、踏、る、来、る、丹、美、原、平

二箇す内ある竟と見方、三三十四の子坊、
向と得し旅宿を著す。

二十五日

時、自由苦働自助の心、外は保大、正三
印才、功、廣井、一、其、口、以、百、城、城、而、行
少、也、と、年、未、決、定、と、言、ひ、自、願、と、言、ひ、山、西、武
振、東、功、は、河、坂、に、就、た、と、言、ひ、五、山、屋、造、り、印
劇、費、の、由、三、三、四、郵、送、一、十、時、希、田、道、行
社、の、後、存、三、收、印、合、集、り、是、々、包、茶、寮、と
重、役、お、か、し、新、任、北、去、市、田、幸、次、中、と
午、食、を、其、の、り、三、時、田、宅、田、代、亮、不、来、稿

二十六日

時、由、子、町、り、其、漸、く、伏、山、田、河、尾、來、功、後、松
本、二、冊、紀、本、紀、録、を、著、す、内、山、南、三、乘、汰、物、を
贈、り、心、人、の、篇、に、應、じ、二、馬、揮、ま、七、林、葵、未、夫
其、功、同、者、彼、其、の、由、功、に、つ、き、り、云、々、と、言、ふ
其、望、三、三、同、す、河、尾、桐、谷、經、と、其、稿、午、後

印刷會社に到り、二時を過ぎ株主総会を以て
本筋不況に對し一刻と決す、元締後兼
監査役一人の減資の規則改正を以て終
つて余も各勤神議の鼓末を報告し
後會を閉じ、更に社内職制改革、更に
内張り、本の誌を一千八百圓の費與金發
く、五峯堂は印刷代千二万圓也、併入
内千円也、余は甘苦也、田代亮は
内千の届状、つて未出、五十五円内子
交付

廿七日

時那部耕石、國者給存書、御書二部、此
付、改口、蘇末、土峯、意、好、御、記、海、海、自、治
元者を郵送す、在、取、海、海、自、治、自、治
印刷會社の金、四万八千圓、(余金)四万八千圓、
名義金、銀、十時、大隈會館、刊、り、子
校、合、計、法、委、員、會、に、臨、り、案、を、七、條、の、多
き、あり、委、員、會、の、中、の、山、田、英、六、中、田、文、三、中
の、二、案、を、簡、易、に、特、徴、あり、其、の、概、を、以、て、案
を、可、と、す、形、状、を、以、て、七、法、を、見、す、新、年
一月十一日、再、會、を、約、し、四、時、教、會、に、訪、問、の、り
味、道、を、石、塚、を、併、來、孫、來、松、人、を、以、て、物、を、寄
り、て、子、の、多、し、返、子、を、以、て、別、在、の、委、員、會、の

あり印夏孝の死に因りて決するに其の
家を換ふる為の多量の方を以て夜暮
賜教木田村を借入園に托き晩飯を
才過前合社海城申余の家産を整頓
し与方と謝する也深更も白あ

二十七日

お相来人を備せ家庭に備へ揚ぐ本向久
より来出、坪内忠造の歴史又画論を讀む小林
堅三林園の歴史と衝突の件につき来談田
代亮外身功由子も診察す、龍動の
宮崎新三印の志林刊、瀬波養をい

飯を以て贈り来る。此の四も
リ社内改革、二つき改訂印刷合社に
一、支那人の中山書業課長本司公彦課
長と休養を命じ、新職制に從ひ三部
課長を置き其下二課長を置き新課
課長を定め午後一般職と工匠を一官に
令し余も社務改革の要領を演説し
部長以下課長を新任す、事の忙甚し、夕
刻星々茶寮に別り、百須苦次郎中
田海亭を招き大隈侯徳記編纂第一
断片を告げし

余より河内を改む高橋、一千田中由、四百田
手書と申す中野礼四、病に死す
二未、今七、四年、直に編纂する其後、
成、内、大、光、し、と、多、子、入、方、状、利、来

二十九日

和、重、万、田、内、子、一、交、付、金、貳、千、九、百、十、八、四、七、十、五
是、記、行、一、預、け、入、の、神、田、の、五、三、石、と、幼、の、光、荒
千、四、百、七、十、五、石、を、將、て、入、る、村、七、百、石、を、一、百、田
細、川、之、店、一、百、五、十、石、書、店、九、六、四、石、折、石、塚、三
即、事、功、事、の、部、の、件、一、書、抄、也、身、上、の、件、一、石
内、流、あり、午、飯、後、即、利、金、此、一、門、の、子、を

河内を改む高橋、一千田中由、四百田
手書と申す中野礼四、病に死す
二未、今七、四年、直に編纂する其後、
成、内、大、光、し、と、多、子、入、方、状、利、来

三十日

河内を改む高橋、一千田中由、四百田
手書と申す中野礼四、病に死す
二未、今七、四年、直に編纂する其後、
成、内、大、光、し、と、多、子、入、方、状、利、来

大正十四年日徳の尾にあらす

本年このまゝ老々例にまゝ一年の大案を
報す

本年の多事一の嵐をくし、世間の不景氣
も人心の益々悪化し、余の振出事業も
概して振はず、為め其心しだること少か
らず、殊に印刷会社は不景氣の爲に成
績本らざる上に二回を職工の賃金増
強起り、九月中の増強、十一月末の増強ハ
二もくも、治の得たるも十一月末の増強ハ
性質頗る凶悪なりと、同業者の将来の
為め義憤を感するハ已むを得ざるを以て

進んば彼等と戦ひ、増強ハ他社との及び
紛擾二内百にこころ、其の不良分子を除
くこと三十七名に及び、今社の利益を損
害する事大なりと、初めは同業十数社
の連盟提議を恃り得たり、

此増強の況きしを以て社内大改革を
断行し、専攻の数を減し、無用の事
務員を解雇し、新の職制を定め
て創主以来漸やく英資をうけつる事
と改革し、此等の為め心を勞し、
このこと非常なりし、余が人格ハ此の増強
と善後、社は同業者の認むる所と

の用を^と利用し^て心算^に入り^て、秋田^の此^の行^は、
ぬま^の湖^の水^の核^を得^てし^る、此^の行^は、
和^の田^の湖^の水^を探^し、野^のの^の若^のの^の望^を
達^し得^る

北^の行^の外^に北^の北^のの^の法^のの^のを^をま^をる^の再^に
い^の怖^の者^は、北^の海^に在^る好^のの^の道^を是^を重^を選^を
り^の田^にに^にお^きる^外、此^の行^はし^る

余^は本^年殊^に、秋^の他^の元^の氣^の振^のの^の光^をワ^クク^を
注^射の^の効^の、心^のの^の内^の子^の漸^やく^光八^十二^月初^め
頭^もと^病床^に在^る重^篤の^の女^とさ^るも^の今^も
多^のの^の教^を受^け、児^の昂^に江^川の^の助^の電^の車^を
中^にに^に遊^ぶ時^は其^の厄^に遇^ふ幸^にに^に重^篤

を^を免^れん^がら^う

ハ^著隨^筆山^陽流^布の^の後^果と^し七^余の^の
趣^味淡^をを^求む^る新^の支^の花^の法^の漸^やく^美
本^年、此^の方^面の^の需^めに^に應^じし^自ら^の執^行
筆^にに^に最^もの^の淡^をを^著し^しめ^る
よ^のの^の弱^さ多^し、長^篇の^の属^する^のの^の施^を
法^の大^の陽^のと^著せ^る者^は、前^の礼^の禮^の早^の稿^の
文^字と^著せ^るの^の況^の初^の頭^のの^の文^字不^の油^の
時^の報^のと^著せ^る雅^のの^のお^のの^の報^の其^の等^を
自^らの^の去^の道^をる^るに^にお^て敢^てし^方を^講
せ^る也^也
毎^日の^の誌^をを^記す^る外^に、味^のに^に淡^をする^の施^のを^記



この頃習本年七歳し得ず日間瑣録九
冊を授け得たり

小幡志日記

大正十五年 六月

一月

丙寅元旦

丙寅、大氣湖の風あり、老らふおをさかおを
毎のこもく居る物の後二程の條を念ふ笑ふ
各古而して列の堆をわらふ、進礼をまきか
形もあはれと泣きまき、候も十時迄をばり
四方神も出づけ、先づ神道の清くは
河つを舞し、終りの次神、を舞す
此神也古述つるも、年所と註んる是也

十五年

るまゝとて其の技藝を以て托す其の龍子瞳に如く
一とを考ふる、好む所も遠く大田為三の如く
皇三三の如く、新書をも考ふる、其の脈を別にして
蓬船を現し得たりしとて、小淵を得て初めて
果すを得たり、雑録を著し、其の如く、其の如く
亦山堂の利助、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く
六中亦邦に軸を考ふる、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く
後植木妖異店を復す

五日

時、十時、合祀の如き、式に臨み、工地に從業する一箇
の奉養を以て、協同の如く、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く
一時、懸樓を漸く取鎮め、三十、合計の演説
を畢す、後、聴け、八職工内、芳助、但合、入り
たる、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く
紛擾の原因、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く
棒を揮つて、一人の職工を執手、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く
既後、合祀に於て、職工と祝杯を奉る、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く
七、過く、亦、以て、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く
此の如く、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く
物も、不在、亦、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く、其の如く

六日

昨、今日、海、内を洞、元とし、朝、来、夜、禁、を、
出、政、部、に、前、し、市、村、井、能、の、借、入、を、七、百、田、の、日、
通、ら、る、る、内、子、に、托、夫、田、代、亮、外、未、込、栗、城、令、
の、事、を、と、り、ま、し、余、の、揮、毫、を、要、す、る、事、を、留、
め、を、考、ふ、九、時、自、動、車、七、條、中、を、形、田、の、凡、月、を、
：、葉、子、を、梅、心、車、車、院、に、朝、光、野、野、頭、也、
凡、及、り、十、時、の、野、内、に、因、吉、領、事、を、梅、心、十、時、
十、分、左、方、の、汽、車、に、投、入、車、中、寸、林、延、人、冠、の、隨、
筆、を、讀、む、十、二、時、を、(、四、府、津、を、經、り、田、の、
地、の、別、在、に、立、ち、三、分、の、強、を、さ、す、し、都、元、有、
凡、合、へ、七、執、海、に、立、入、二、時、以、外、一、帆、海、着、
是、院、對、於、此、に、な、る、事、を、考、へ、道、邊、に、余、の、

來、着、を、待、つ、こ、と、也、
し、市、村、茶、輪、佛、に、來、候、待、つ、乃、ち、梅、見、美、術、
能、法、を、利、こ、つ、き、其、の、需、ち、る、事、を、考、へ、こ、と、也、
と、道、邊、と、二、三、時、間、對、候、の、後、邊、に、其、
と、事、に、此、の、事、を、考、へ、梅、見、美、術、(、道、邊、に、考、へ、
こ、と、也、) 瓶、瓶、後、邊、に、葉、子、二、種、對、す、
危、険、な、事、を、考、へ、等、也、道、邊、に、考、へ、
津、の、形、を、考、へ、高、田、町、関、而、其、き、考、へ、
ふ、や、川、の、岩、お、式、に、候、事、を、考、へ、余、の、考、へ、
五、分、の、事、を、考、へ、
室、多、好、壽、合、也、

時無風公相道遠と疾注早大と浪割回も彼
をひらくの激ととるゆい道遠は自家選集十二冊出
版とせしむる利養全部と承けし浪割回も彼
の為の早大、安河洲支とと語る、尚早大回
も彼、浪割回も彼、現の為め一人專任の者
を置くとしと要求し、且つ浪割、浪割、浪割
回(村井、村井、原身、石井、古書)も官
才へしとととある、為他の旅談、時を移す
急と伊東行を思ひ立つ、堀内、大、安、七、回、し、く
行かんといふ、空、空、空、自動車を備へ、十二時、な
既、海、を、見、る、を、著、八、浪、海、三、十、数、回、七、未
伊東、浪、水、の、初、今、を、と、そ、の、ま

自動車を備へ、浪路の便の計けさうとて、浪の
井合を馬車ととる、自動車を備へ、浪路の
ト、子、ル、を、道、過、し、錦、ヶ、崎、の、崖、上、に、作、り、な、る、道、は
平、坦、な、る、と、屈、曲、多、く、道、幅、七、俵、ま、く、自、動、車
上、を、走、る、危、険、の、思、を、為、夫、上、下、多、難、を、経、て、浪
代、道、に、利、便、ハ、道、幅、七、俵、ま、く、屈、曲、ハ、多、し、唯、此
自、動、車、の、往、復、云、こ、浪、割、回、か、ち、さ、る、浪、割、回、突
の、難、と、免、かん、宇、依、美、ト、子、ル、を、経、て、伊、東、港、に
達、す、既、海、と、五、里、四、十、年、前、海、路、往、復、代、ま、
を、考、へ、し、こ、と、あ、ん、ど、此、の、五、里、の、道、ハ、全、く、初、め、
経、る、家、也、伊、東、に、着、し、て、玖、須、美、の、暖、香、園

地と化し、舊時のおとろけ想像し得ず、海岸に
出れば海浦の品と比ぶれば、洋の池を品ぶれば、
微温の中、熱帯地の魚類と甚多し、此地の一表
物といふ、硫黄に似たり一浴す、温る、聊、硫黄
す、人多く透り也、車、五七の倍、え、うき、を、あ、す、
後、同、道、道、と、快、飲、早、く、臥、す、

八日
噴、無、風、今、朝、真、を、氣、を、こ、え、入、れ、海、に、比、す、ん、の、氣、温、
倍、々、似、多、朝、を、夜、に、故、来、松、川、を、流、り、猪、戸、
を、訪、り、伊、集、町、に、接、す、す、子、も、新、開、地、と、云、え、り、
他、日、般、來、の、地、も、ん、麻、山、神、社、を、相、し、又、松、月、
院、を、訪、り、そ、の、境、内、に、も、眼、下、に、湯、川、の、村、を、乃、
海、を、馳、脚、す、地、柄、月、波、の、名、區、を、ん、と、懐、こ、い、と、
ハ、樹、木、少、く、く、眼、界、を、入、り、附、近、の、山、を、凡、也、
皆、來、の、數、葉、を、伊、集、の、採、集、也、略、と、云、く、亦、
る、と、勝、概、に、熱、海、に、下、る、こ、と、式、書、を、入、り、旅、宿、に、
一、り、午、の、後、好、晴、に、乘、じ、と、し、汽、船、に、投、し、
熱、海、に、出、え、し、議、す、海、上、沿、岸、の、風、景、を、已、
る、と、一、息、と、う、り、二、時、暖、香、園、を、去、り、乘、船、
坊、に、入、り、途、中、新、開、地、を、其、の、家、を、過、ぎ、ガ、リ、
と、平、日、を、遊、ぶ、伊、集、海、の、ブ、リ、は、余、の、最、
七、時、止、不、と、す、二、時、半、汽、船、を、海、上、渡、

平かきしむる車上ニ感一々危矣をく道是と
す後ニ耽る時ニ時経るの況岸を馳眺ま
る況岸を管共ニ擁り樹石多く居ちて去
風政をく一時河を費さず船の宿代も亦
遠き直の熱海の横碇に達す市中に出
とる金中一お道一なる板一の適又今
哲の世帯の難由十敷尾を昔々もきけ振
と逢醜村花の海の時ニ四時也皆出
後本乃久唯在余も活ひ来りて空しく物
中と留守岳の掉報も一込後伊東と高し
未の鮮魚と下お一杯を奉け酌酔し寝
く

九日

拂曉あり天気二回後道迄も佛人の手
成りたる哉句を云ふ春陽を友行の西原柳
編川柳江に歌よの夜を観園も余か哲世帯
地帯記念画帳に方道の地帯の和紙の挿
毫を初め道迄亦採集に収らんさし四五の
料を弄さる方道の法中ニ法廷一此の鑑
の片えを父をえたること七回あり其の都
鑑定者七枚集守に収めんとし先づ早稲
文書の書し二月強に掲載見とすと
出しとす午後道迄と散策市中に新
えたる建物を眺揆しつゝ其の
品を古居相みの

印箱三文字世傳余も其し家傳名家社印
二言勅帖を二枚に捺し今印受今表装して
却して揚げあり。松林桂月の画し今寸珍畫
冊を購ふをゆへる。家信に接す。昨年桂月の画
冊を此地に得たり。旨味の字。近年のものと
也。價十二圓。道遠に裁判所へ差出し今鑑定
也の草稿一冊を申受く。父利本向久雄東
宗も訪ひ来る。秋の鈴木あやうといふを根を
酒河森崎の祭の袖歌と唄のし。去年七
月十五日の言の袖集を海岸に移し。村人
集まり歌舞あり。浪習あり。然るも今此の
也。道遠の海あり。セントと東京に渡り。時
此人を東京に侍り。猿の助に習ひし。のりといふ
余酒河棟書、純謝の二字を古き道不

十日 日曜

町古屋桐葉まき生植葺を贈る。中村春
和訪ひ来る。昔年道遠方に都り。本河舟
并に道遠に梅園に散策し。梅苑八公道り
次。是れ人生まじ。海岸の住まといふ家。道
遠夫婦に根え。本村と先に洋合の巻を
受く。此家の神理ある。一司集據に
敬意を抽ひ。余一時十八分日の東京の

昨日、朝来、彈丸を三四枚、田代、亮介の寓に届す。
板上弘花も、注射を施す。立派な海城、由緒
是、二、三、間す。森脇、美、物、来、接、施、給、を、著、し、
て、正、午、に、至、る、午、後、出、る、施、田、出、店、を、展、示、
四五の圓方を接し、由緒、又、接、給、を、著、し、
酒、五、杯、前、田、主、流、医、に、贈、る、又、又、一、二、鐘、高、田、
橋、士、に、為、り、贈、る、早、稲、田、大、方、に、一、二、鐘、高、田、
来、出、

十三日

昨日、久江、第一、書、田、亮、介、来、訪、令、社、の、要、件、に、関、し、
申、時、協、議、し、て、去、る、十二、時、迄、を、以、て、申、時、
及、に、為、り、贈、る、田、原、亮、介、に、致、し、て、由、緒、に、二、三、
枚、を、贈、る、森、脇、後、と、夕、刻、に、此、の、

十四日

昨日、朝来、旅、給、を、著、す、平、山、登、美、友、に、由、り、
利、入、社、に、の、き、来、訪、難、波、早、大、行、事、の、日、の、
作、持、員、會、に、の、き、来、法、中、田、海、五、尚、記、編、纂、
残、務、に、の、き、来、接、田、田、相、方、に、來、出、午、後、又、
田、を、以、て、施、給、を、著、す、三、時、に、接、し、を、珠、環、及、
文、行、堂、を、以、て、由、緒、を、圓、方、を、送、り、又、利、由、書、二、
三、の、郵、出、利、の、

十五日

リ梨果二通を寄るを舟の夕刻迄と待たしむる
を酒合す、夜未白あり

十九日

而今朝森脇の付大隈彦とあらに、印の洋
彼の新を染染をえん、先居依記の伴、外三の百
を揚返し、田舎田屋を、飲す、お出、白飲
と、深らば、紙の、紙を、にて、年功、回者を、想
理し、架と、紙地を、存す、以て、なる、冊仕入、紙
二納ち、早大、と、妻、あ、合、この、と、来、と、
の、梅、月、利、りの、印、利、の、親、多、新、年、言、の、合、
、梅、月、利、りの、印、利、の、親、多、新、年、言、の、合、

二の、出、利、り、の、梅、月、利、りの、印、利、の、親、多、新、年、言、の、合、
状、利、り、の、梅、月、利、りの、印、利、の、親、多、新、年、言、の、合、
富、田、市、也、利、り、の、梅、月、利、りの、印、利、の、親、多、新、年、言、の、合、
二十日

時、久、永、岩、穂、来、り、美、の、國、二、余、の、紙、味、港、を、
六、乃、丁、印、の、紙、味、に、就、て、二、時、紙、余、の、紙、味、を、
採、せ、し、あ、太、陽、記、者、者、み、川、流、三、来、り、余、の、
豆、本、芝、集、し、就、て、の、物、を、消、ふ、月、来、と、茶、
心、し、七、字、の、物、を、約、す、今、世、を、い、香、紙、を、時、
日、来、傳、文、紙、二、通、の、紙、二、紙、り、なる、事、を、報、
来、り、田、代、高、石、及、十、田、後、吉、二、紙、就、を、報、
神、乐、江、空、石、二、紙、出、を、報、す、横、尾、文、行、先、

小文成一が賛幸三並木元吉一と身功、文の場合も
世刑大平平洋敵多しと其批判を配幸、主婦と友
社も石川武美と一冊子も字の七未、紐育書
二月号) 清の泰次とと信も一と別、午後二時
帝劇に別、此の劇場を今休るとも帝劇を代
社の社屋後自一社在新任の技役人をもひらき
後つて観劇：移る全部買切也、晩飯後
一と家へ向へる、由余少の所の松之巻、一三の
因もも盛山十五田井角

二十五日

日中の人會保済會社、四午の借入の利息二る
因納付、刑未才珍を其集の務を属し
午後二時、日本國の復興協會より、未出分、夜星
々園茶寮より馬田お徳役、提え、今社中役と
共三行、三部長七其の、黒の脈多、液の起る也
二三會社の協議を遂、一月末、二る、因外、早
因内子、交け、世帯代、三五日、日、真、為、桂
次、り、く、出、状、を、見、る、ま、丸、山、新、十、印、の、新、刊、

二十七日

所得稅稅電報、共四、九、十、二、四、納、付、り、
有、須、梅、江、十、字、流、村、山、新、十、印、内、山、有、三、り、未、出、

大谷嶋元大改とて此京高田前時と也。此に抗て
築地の某事とて午辰とせり。此家大錦上角
能の新に三宮及び所築段あり。野猪の肉丸七
可なり。食後本郷の公館に。田舎を殆く。城
垣。五丁目文行あり。二丁目辨。四時半。京
台の橋川に。列り。國體會に。臨み。吉村克雲
の佛像に。関あり。秩祿を。少き。念の事を。興んん
物一。坂口。献支り。五丁目。為。坊。入。出。利。の
こん。の。口。隔。余。の。主。修。金。を。入。村。井。沼。の。一。差。入
置り。擔。保。株。を。引。元。の。

廿八日

時。和。あ。克。雄。兵。一。役。中。支。那。に。あ。り。一。年。半。の。間。
還。支。那。の。石。像。を。土。画。を。上。り。其。他。を。賣。ら。し。米
又。朝。来。旋。船。を。賣。り。時。を。甚。く。加。減。前。に
病。臥。の。家。を。終。り。時。辰。急。を。去。逝。を。傳。へ。被。代
稱。身。任。由。著。心。の。事。に。の。り。後。の。實。問。す。る。事
あり。中。外。高。業。所。積。社。員。五。井。一。人。才。力。者。お
こ。れ。し。余。の。証。法。を。以。て。一。二。を。後。す。野。の。内。切
儀。行。職。の。難。の。出。づ。故。の。為。子。伯。舟。を。授。け
る。の。時。に。克。を。傳。へ。し。神。田。に。回。去。を。願。ひ
田。原。氏。に。飯。を。授。け。し。

廿九日

時、今朝の山登三十分は石油時報に提出す
へき、余の随筆一を筆端をこめ二時百段
を費し終りて大隈公使に到り早中の死
満三社食合をひらく、ゆゑ印刷会社
主宰りり書をもえ、問題の旧稿文館閉鎖
其の得志をいし印刷の注文を多く
べきや、おのづかしの協定も、余の自重
説とをいし、四時迄は、新編、栗木と云文
文苑七年忌法衣、葉子、利来、早大難波軒
書、いと未也、夜に入らざる、旅記を著す、
若槻、徳次、の首相お命、内おを、血、去、雁、を、
ゆゑ、の、旅、記、を、著、す、の、ゆゑ、

三十日

時、旅記を著す、村山、為、し、ゆ、を、流、産、印、を、し
め、の、暢、代、八、十、山、嶺、ぬ、坂、井、衛、平、の、今、昔、物、語
集、の、新、研、究、を、讀、み、午、後、二、時、本、の、益、生
軒、に、到、り、同、多、岐、協、会、の、活、派、会、に、臨、み、
て、同、不、有、志、能、無、分、を、い、ら、ま、い、
を、述、ぶ、す、未、今、者、四、十、名、余、席、上、演、説、す、
此、の、珠、瑠、岩、文、行、也、を、評、し、三、四、の、回、を、
を、講、ぬ、

三十一日 日

時、雪、停、候、阪、上、に、危、毒、の、注、射、を、施、す、

白須蓋身ゆゆ人帝つて支那の領事やうし人
松若山陽を懐らしむ喜こひ山陽の也一橋を
振世帯余の望定をもとむ書ハ牛馬の校
書袖笑の為の其の幅中一巻てはるこのん
跡る跡物も其に真原を以りしを研究
の為め預る沈書も形原原書、又百午後西
降り止つ、旅帳を著りし七時を移す、五時お
多飯、到る余白書多る三人合をひくく大谷
明心出立す、こつき振欲、林内古方り下
り又うハ解書一死野も、まんとも多飯、打
ち込下物目と使す。

〇二月

一日

明、坂正献まふ功類の子を贈る、五山奉遊
行算行(色)色印、原玉重山田清也及清
十時光と休めて出遊、松生、到る時無政
府園又景観を法店のにこウウエドトと名
並みと校境し、この器を又る、尾坊所附し右
候三十軒許所破子と破る、部主公の
手ぬきさあさく、坊くや、林を多喜と酒飯し
赤坂の葵路、味香山と見、四子の三河倉候
一有又、十公電、古う此柱ぬや、梨葉菜一袋
も寄せある、出船部も、山刑、市所村の

又二三紙揮毫、七夜、古山の大理、彦彦、折、
九大学の幹部と共に、刊、大理彦彦、折、
係の中の、増田、種、打、来、臨、坂、本、嘉、次、馬、也
其、あ、り、席、上、傳、記、出、版、取、費、の、呈、據、を
坂、本、と、定、め、坂、本、の、心、流、を、得、坂、の、意、を
受、け、深、く、心、も、関、大、印、も、も、来、也、

四日

晴、朝、来、揮、毫、教、次、成、三、森、柳、来、功、十一、
又、生、神、の、信、を、と、頼、え、ん、と、山、久、を、と、頼、
と、八、と、得、す、二、三、考、書、中、を、心、を、目、を、
二年、初、家、の、存、在、の、酒、後、に、心、を、り、又、二、
三、紙、物、三、毛、大、改、り、鐘、田、り、南、條、を、
来、の、新、紙、下、書、し、七、時、を、具、す、

五日

晴、風、ぬ、口、押、毫、の、拙、書、に、印、を、捺、し、信、頼、者、に
考、文、(支、那、版)を、考、す、午、後、一、時、の、生、
命、保、険、會、社、に、別、り、早、大、の、会、計、部、に、
員、會、に、協、助、す、可、同、引、つ、き、逐、條、考、査、修、
す、但、し、尤、も、重、要、の、箇、條、を、必、決、二、派、に、別、
の、余、志、き、り、の、補、修、し、た、ん、と、成、り、了、二、時、過、

散会す、飯後、此も七下婢、十未、日、送
の煙、信の計、列、日

二日

時、種、打、白、須、直、能、波、地、下、斤、文、日、未、日、
持、又、竹、太、湯、話、上、余、の、豆、本、に、潤、言、記、も、を、
ぬ、と、豆、本、を、寄、る、に、揚、る、と、言、ふ、の、を、同、
伴、二、日、敷、十、上、出、九、振、新、七、一、出、納、前、
例、を、感、了、名、し、飯、塚、彦、次、中、有、る、亀、山、
素、三、不、静、合、の、き、同、人、役、論、を、托、す、二、木、
清、余、の、揮、毫、を、謝、し、鮮、魚、を、贈、り、未、日、関、太、
郎、に、問、ふ、松、枝、亭、瀧、の、大、額、書、を、改、の、表、
見、る、に、廻、す、

七日

日

時、後、口、献、古、田、五、日、子、の、独、立、其、も、六、枚、交、
付、其、時、在、中、の、事、の、心、願、も、多、く、名、氣、と、
す、き、又、赤、紙、并、茶、葉、子、を、贈、り、主、婦、に、友、
社、古、石、川、武、美、の、山、状、を、寄、り、す、刺、墨、を、
惜、み、数、紙、揮、毫、山、本、忠、貞、の、御、存、を、西、
田、一、電、氣、の、事、に、関、し、来、振、海、の、持、卷、
中、の、久、も、来、出、午、後、市、々、谷、台、の、基、替、教、傳、
道、今、録、に、列、す、ほ、内、信、の、葬、儀、に、信、也、四、時、元、
七、信、也、出、飯、部、の、親、割、八、を、信、也、信、也、
新、橋、漢、美、也、十二、時、物、品

十三年借入分を返印し奉る。尚加八
貴愛の研沁面片味とて贈り奉る友
情相まじり。吉面の研造あ十五年度の刻紙
り。女福傳法り。前日家蔵の古本を撮
りて。古本十枚傳又録し。送り奉る。

十日

市小川陸に輔に誠之と書す。高木未表
的。四ツ文未法十時。多淨代。而別。松保を
筆下。午飯。而。一。元。日。付。松。保。を。松
保。に。教。養。お。と。解。少。と。并。松。に。致。し。て。也。

十一日

紀元節

市小川陸に輔に誠之と書す。高木未表
戶名物と法。正午。一。五。早。中。の。飯。負。山。口
大。府。の。計。利。の。年。後。の。法。一。兼。一。光。と。付。を
教。養。非。法。の。列。り。物。と。解。少。と。并。松。に。致。し。て。也。
借。し。奉。る。田。原。屋。に。入。り。時。を。多。く。松。を。養。け
て。付。く。と。雪。を。か。け。出。つ。の。中。の。以。文。と。覆
本。飛。傳。を。奉。り。松。保。に。致。し。て。也。
二。三。四。の。三。段。入。本。と。も。書。す。首。尾。の。覆。を
を。得。し。又。を。補。え。と。一。段。覆。五。十。日。也。
向。て。乘。し。七。印。法。の。分。心。の。もの。を。叔。保。す。

十二日

昨、大江乙島泊、杉崎貴の切支丹殉難記を讀
み、山崎清地、杉崎美樹、東次、時久、江村一
車、法、午後、物、海鏡を録し、教、校、成、内
卷、久、寛、に、招、え、ん、時、久、堀、河、堀、士、を、護、り、を
共、に、麻、布、材、木、可、宅、に、赴、出、く、食、後、既、而、白、題
を、論、議、す、早、速、農、林、に、お、の、ろ、の、内、務、に、寄、附、を
せ、需、め、の、其、の、も、流、を、得、九、時、自、私、車、に、上、り、ん
じ、由、(る、小、林、望、三、母、の、許、到、る、迄、之、に、紙、後、も、も
振、き、下、下、輝、の、絵、料、一、年、分、前、年、款、元、の、渡、り、
早、大、う、今、計、現、定、修、正、の、お、お、利、二、九、河、城
内、の、自、業、者、画、架、儀、儀、成、五、二、枚、贈、り、未、也、

十三日

昨、廣井一車、ゆ、物、を、好、む、白、須、益、喜、の、余
の、寸、珠、畫、法、と、又、人、二、と、を、求、む、即、ち、教、十、を
出、し、七、示、す、山、陽、幅、返、却、午、後、旋、転、を、草
一、又、吉、利、支、丹、殉、難、記、を、讀、み、出、版、部、近、刊
道、邊、の、海、舟、の、意、の、骨、折、入、多、し、配、本、五、時、上
野、精、養、軒、に、招、る、例、年、の、如、く、出、版、部、近、刊、の
早、大、其、他、の、表、紙、者、を、招、り、し、新、年、の、定、心
を、催、す、余、席、上、一、場、の、漫、談、を、為、す、文、行、堂
を、召、す、田、島、を、呼、び、獲、る、不、幸、(一、前、回、勘
定、十七、日、抄、録)

十四日

日

晴、大石理田、高田、久部、早田、野、東部、の
為村、大石、早田、物と、早、正午、又、打、は、
人、日を、橋、酒、屋、の、春、日、酒、飲、し、自、動、車
を、の、配、り、各、所、の、方、館、を、歴、訪、し、夜、こ、う、ゆ、を
真、山、桂、次、り、石、井、ぬ、ち、ら、し、ま、り、未、也、於、此
を、ま、り、す、夜、来、雨

十五日

晴、道、こ、く、大、隈、侯、邸、に、毛、印、刷、に、附、す、へ、き、終、言
ま、り、こ、う、今、朝、も、信、長、の、再、渡、を、始、ま、り、石、川
氏、文、を、酒、酒、真、山、桂、次、り、ま、り、白、魚、を、贈、り、未
二、文、三、母、の、法、海、を、こ、も、あ、り、め、今、為、物、也、こ、の、き、
典、十、日、交、付、杜、出、二、三、枚、の、回、り、二、共、お、正、午、考
を、付、お、り、中、原、尾、酒、を、し、ま、改、の、其、後、映、書
を、見、ぬ、こ、う、卯、も、夜、来、風、お、こ、る

十六日

風、森、陽、美、相、非、代、徑、真、村、山、物、の、能、来、流
村、山、花、し、も、美、却、し、も、書、書、海、代、四、万、三、十
三、田、飲、ぬ、文、の、始、合、し、判、入、親、の、甲、入、京、一、冊
配、奉、亮、の、口、ア、ノ、師、秋、原、に、陪、市、中、頼、山、陽
を、贈、り、時、り、こ、引、つ、き、大、隈、侯、邸、を、後
あ、午、後、四、氏、氏、宅、社、の、牧、桂、来、り、二、書、書、樹、に、余

と購心札上二つ置く、

二十二日

時、村山香浦来り、書畫遺残を悉く印し附録せし
もの二十四點、拾おの交付外一紙、大時代一切類聚
十枚、價百圓と決す、千圓をせりておの金
五圓用預け金銀のつとに引出す、足違あり工
門来次、因考館、關如の因考部、歎き、法法を
試み、日本人の爲に成せんと、あるを主り、三時
出ぬ神田のちあるを二三の因考と銘し、山を去
ハ、十日、細川考、底を二十圓拂入、おせ、之の
爲の物と購心札、金を二兩敷し、しめく、宮内省
ありぬあり、

二十三日

向、各別り、手紙を多くし、多く時を費す
午後一時、在、蔵書館、こむう、文の協、合、研究、奉
流、分、を、多くし、字の、海、濱、高、川、上、俊、彦、氏、安、山、雷
太、あ、へ、ま、前、ある、と、口、に、や、の、事、し、め、を、終、り、後、再
り、南、洋、に、シ、ヤ、ワ、の、祝、を、お、話、を、お、す、し、め、終、り、
物、出、形、由、の、を、お、話、を、お、す、し、め、終、り、
将、中、考、に、お、お、代、り、し、め、終、り、
岸、正、を、お、来、

橋の生を二時分歩み午時漸やく其殿を
先ハクし功なき程のぼり因居移至ハ今
頃飲可北家の内意に促すし由故能由
の古居に二三の古を舞を仰ぐ又旋舞を舞
し夜に入上出殿印の其事物欠記可致(一七)
匠名の出列也

二十七日

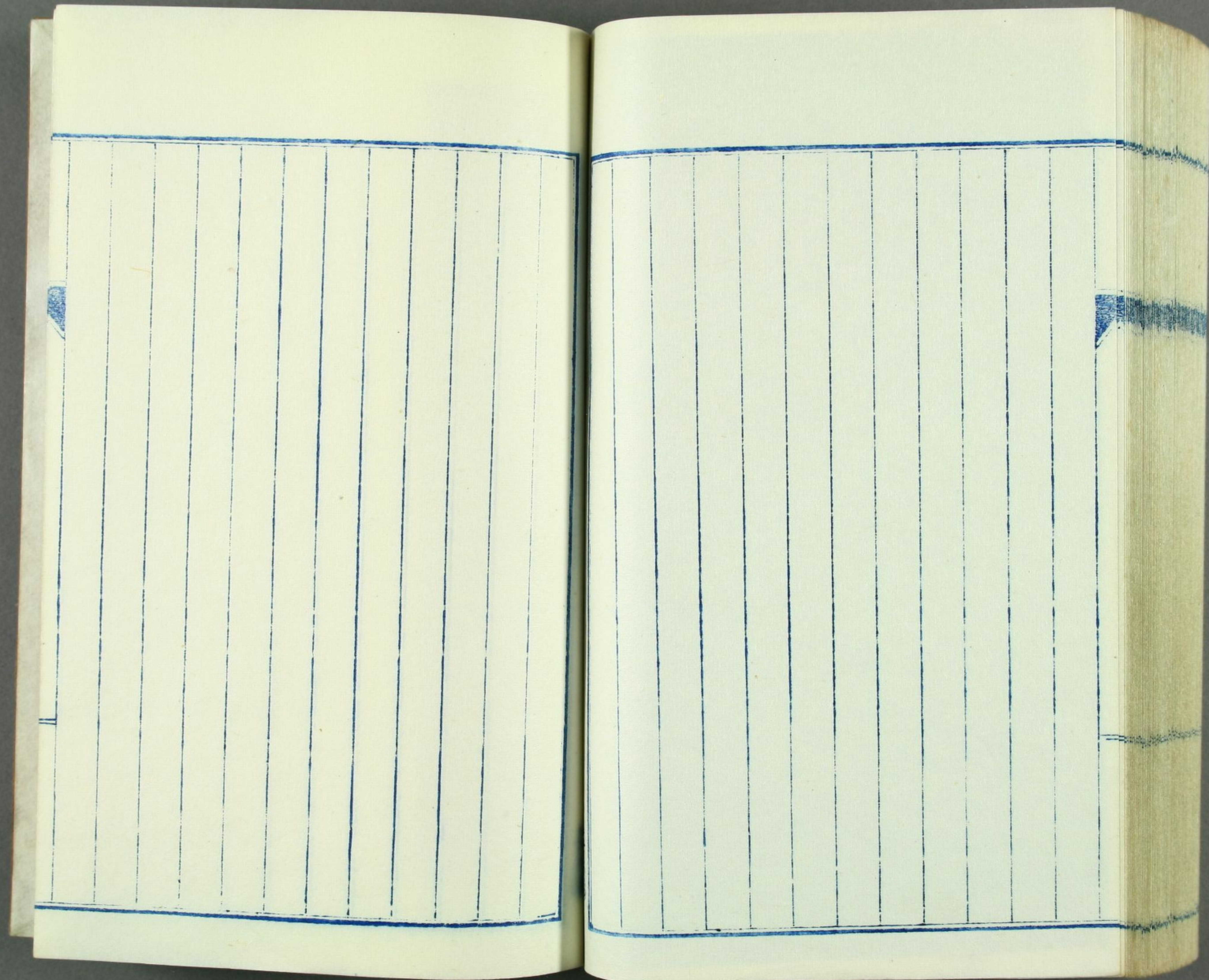
町中御座示息守し御身振作殿印に銀
伏状に附す及上公長より注射を多く内山
省三より来出の田川政文其の元治書
印漢代金の白の田川政文より内山入寛よ

り使事より至る田録取形略書印語を
翻し印語の念心のよを抄録す又其好
田書録員片岡小左のより来出又横濱の
より来出海を式次より来出大隈侯岩
倉三條の通つての市安山雨の言を美り来
るより来出を言つての来り森路おの漢
紅詩を存る撮影其す三時より上の梅
川に利り河野相考に維新後世おのすつと
談話し中野保ヤ一あり四時より西園寺を
席にひらき内倉仲の不味公に就ての談を
聴く談者四方に降る九時漸く樂殿十一時家
二時三夜未而歸也

二十八日

晴、風、朝来強風を帯び、市村英輔美術院
造り行つた。来訪、出陣部、山田徳吉、関西
市、出陣部の報告に来る。山田武樹、二十四日
す、雨、虎形多の牧柱を来出、十時迄を待
て出陣、徳田、三者、村を待たる。山田徳吉
、利り、松本、三、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、

三月以降別冊にあり



以下全て

白紙

